

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライフステップ創		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ライフステップの名前の通り、児童期から成人期までトータルサポートが出来る。	日常生活での困りごとから支援方法を検討し、ライフスキルトレーニングの活動を取り入れている。	関係機関と連携を取りながら支援プログラムを組み立てて実践していく。 また、成人期を見据えた進路相談対応も随時行う予定。
2	インスタグラムに活動の様子をあげることで日々の活動内容が分かるようにしている。	個人情報に留意しながらなるべく活動している様子が分かりやすいような写真をあげている。	写真の掲載を継続して行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一般的な活動空間ではあるが、人数によっては狭いと感じる場面も見られる。	机の設置により、机上活動は行いやすいが運動出来るスペースを確保することが難しい。	工事を行い部屋を拡張することで以前より運動スペースを確保しやすくなった。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
ライフステップ創		年月日				10	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	2	4	1	3	もう少し広く活動をしてほしい。	今後もスペースを確保し安全に活動を行えるようにしていく。
	2	4	1	2	3		
	3	5	4	0	1		
	4	4	2	1	3	感染症等気を付けて行動してほしい。	今後も使用した物品を消毒する等感染症対策を徹底していく。
適切な 支援の 提供	5	4	4	1	1		
	6	6	3	0	1		
	7	7	3	0	0		
	8	6	3	0	1		
	9	6	4	0	0		
	10	7	1	1	1		
	11	1	3	3	3		
保護者 への 説明等	12	6	2	0	1	入所時はあったが、変更点等あった際に適切な説明がなかった。 または事後報告。	変更点がある際にはその都度丁寧な説明を行っていく。
	13	7	1	1	1		
	14	4	0	4	2		
	15	6	3	0	1		
	16	6	1	2	1		
	17	6	2	0	2		
	18	1	2	4	3		
	19	4	3	2	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	4	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	2	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	3	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	2	1	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	2	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	1	1	2		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2		聴覚過敏に配慮されたスペースが必要であると感じる場面が多い。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	3		・児童の不機嫌の対応の際、職員不足を感じるが多い。 ・送迎対応等で職員が現場を離れる際職員の配置が少ない場面が見られる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	スケジュール表や絵カードを使用し児童が見通しをもって過ごせるようにしている。	・階段があり、バリアフリーな環境になっていない。 ・階段の危険がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	毎日掃除や消毒を行い、清潔な環境を保てるようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2		聴覚過敏な児童が多いため一つの部屋での療育はトラブルを生む原因となる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	3		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		管理者が不在の状況でミーティングを行うことが多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	2		
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	インスタグラムで毎月児童の様子をあげている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	2		個人記録ファイルにお薬手帳のコピーが必要だと思った。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		管理者が朝のミーティングに参加することで話し合いの機会が出来ると思った。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			